

平成27年度 自己評価報告書

対象期間 自:平成27年4月1日
至:平成28年3月31日

平成28年7月

1. 学校の教育理念および教育方針

本校では、教育理念、教育方針を以下のように定めている。

<教育理念>

1. 誠実な人材の育成
時代が変化する中でも、職業人として「誠実な」生き方ができる人材の育成をしていきます。
2. 誠実な教育の実践
時代や学生の要求する知識・技術が習得できるように誠実な教育を実践していきます。
3. 誠実な学校
学校が、地域社会の一構成組織体として、社会に範たる存在となることを目指していきます。

<教育方針>

1. 「実践・実務教育」
資格取得や技術を習得して、社会貢献できるための「実践・実務教育」を行い、プロフェッショナル(理論と応用及び実践力を備えた職業人)を育成していきます。
2. 「個育成教育」
個々人の創造性・独創性や、持っている能力を最大限引き出すための「個育成教育」を行い、クリエイティブ(創造性・独創性)で、何事にも積極的に取り組む人材を育成していきます。
3. 「全人教育」
専門知識で裏打ちされた豊かな人間性を育成するための「全人教育」を行い、ヒューマニティ(幅広い専門知識に裏打ちされた豊かな感受性)に満ちた人材を育成していきます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 資格取得率の向上や高度な資格検定へのチャレンジを推進する。
2. 自己の適性を見極め、希望する職業への就職を推進し、定着に努める。
3. 習得した知識や技術を社会で活用し、応用できる実践的な職業教育を行う。
4. 業界や地域社会と連携し、最新の実務・知識を反映したカリキュラムの策定、教育方法の工夫を図る。

3. 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・教育方針・目的・育成人材像等

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
2	学校における職業教育の特色は示されているか	4	3	2	1
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

【評価項目1、2】

・教育理念、教育方針、本校の特色を明確にし、Webサイトやパンフレットで公開している。

【評価項目3】

・学校の将来像を描き、具体的な方向性を検討している。
・机上での学習から、実践的実技へ高めることへの工夫が必要である。

【評価項目4】

・教育理念、方針等を入学式に保護者を含めて周知し、Webサイトやパンフレットで公開しているが、より深い理解が求められる。
・学生には日常の授業において、資格取得の動機付けを行っているが、保護者には入学時のオリエンテーションが中心となっている。
・学生に対しては学生便覧や日々の授業を通して伝えているが、保護者に対してはほとんど機会が無く、周知徹底する必要がある。

【評価項目5】

・年度当初に教育目標、育成人材像を掲げている。その方向性について学校関係者を交え、確認している。
・ビジネスキャリア科は全般的に資格に対する指導となっているため、資格取得は達成されていると思うが、実務に対する指導はまだ不十分である。
・学科の目標として設定している実践力や人間力が徐々に身に付いてきている。

②今後の改善方策

<p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディやパターンの実技時間を設け応用できる力を養う。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科ごとの特徴を示した資料やWebサイトで保護者に対して周知する。 ・三者面談実施時に、改めて学科の教育内容、学校の教育活動等についても説明を行い、保護者への浸透を図る。 ・保護者と接する機会を増やしたり、学校の方針や取組み内容を伝える方法を増やす。 <p>【評価項目5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携をより深め、さらに深くニーズを探り、より実践的なスキルが身に付けられるカリキュラムを策定する。
--

③特記事項

--

(2)重点目標

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	資格取得率の向上や高度な資格検定へのチャレンジを推進する。	4	3	2	1
2	自己の適性を見極め、希望する職業への就職を推進し、定着に努める。	4	3	2	1
3	習得した知識や技術を社会で活用し、応用できる実践的な職業教育を行う。	4	3	2	1
4	業界や地域社会と連携し、最新の実務・知識を反映したカリキュラムの策定、 教育方法の工夫を図る。	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報系学科では資格取得のための対策授業を発展させて集中対策講座を実施した。 ・卒業までの資格取得率が前年より4.3%向上し、日商簿記1級やネットワークスペシャリスト等の高度資格の取得も達成している。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ個々の適性にあつた就職指導を行っているが、定着まではいっていない。 ・就職活動前より自己分析を行っているが、自分の希望と現実の適性とが合わず内定まで時間の要する学生もいる。 ・学生の希望と適性に合致する就職ができるよう、面談や個別指導を繰り返し行っている。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界に対する知識を含めるセミナーを実施した。 ・実習の時間を増やすとともに、前準備でのシミュレーションやよくあるパターンの認識の意識付を行った。 ・知識の習得に加え、実際の職業の現場と近い進め方での演習を実施している。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、カリキュラムに取り入れて実践している効果が出てきている。 ・インターンシップや職場見学、職業人講話など実施している。 ・最新の実務や知識のカリキュラムへの反映に努める。

②今後の改善方策

<p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育のなかで仕事を続けることの意義を伝える。 ・企業の協力を得て、就職後1年および3年後の定着率調査を実施する。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディの実技時間を設け応用できる力を養う。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携の幅を広げ、より最新の実務をカリキュラムに取り入れる。 ・教育方法についての研究授業を実施し、さらなる工夫を図る。
--

③特記事項

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目担当をしているクラスの学生だけでなく、同じ科目を学習している全クラスの対応を行えるようにする。

(3) 学校運営

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 取組・成果・課題

<p>【評価項目1、2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営方針を事業計画・予算に反映させ、組織として活動できるようにしている。今後はさらに一歩進んで教職員一人ひとりが共通認識を持っているという理想的な状態にしたい。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附行為及び組織図に明記され、運営されており、組織改編を積極的に行うことにより有機的な機能を図っている。校長が教育的な観点から学校経営を行っている。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人(学園)において規程を定めている。目標管理に重点を置いた自己評価制度である勤務評価制度を実施しており、人事評価に用いている。 <p>【評価項目5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人(学園)の規程に則って整備されている。今後も意思決定システムの研究を進めていく。 <p>【評価項目6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に携わる者として法令順守は当然であり、特に個人情報保護については、体制を強化した。今年度はネットワークセキュリティ向上の為に機器を導入した。 <p>【評価項目7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webサイト等を通じ教育活動の公開を行っている。また、自己評価および学校評価をホームページより公開している。 ・情報公開については、ホームページを通じて随時行われている。 ・中学・高校からの学校見学を積極的に受け入れており、平成27年度実績は中学6校・高校4校であった。 <p>【評価項目8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新教務データベースの運用が開始されたが、運用ルールの見直しや効率化の方法について検討が必要である。 ・教務部の情報管理について統一されていない部分があり、学生部との情報の共有が不十分である。

② 今後の改善方策

<p>【評価項目7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを通じた情報公開までのタイムラグをできるだけ短くする。 ・学生自身による広報活動の仕組みを工夫する。 <p>【評価項目8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務データベースを教務部・学生部間での情報共有等、効率的に活用するため、運用ルールの改善やデータベースの調整を行う。
--

③ 特記事項

--

(4)教育活動

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1、2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念を基に、教育課程の編成を策定している。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目間の関連を明確にし、シラバスで示している。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、カリキュラムに取り入れて実践している。 <p>【評価項目5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連分野の企業の意見を取り入れながら、カリキュラムを最新の業界動向に合わせて見直しを図っている。 <p>【評価項目6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムにキャリア教育、インターンシップ、職業人講話を盛り込むなどの工夫をしている。 ・販売およびサービス系のインターンシップや実習は出来ているが、経理系は顧客情報保護の観点からインターンシップ先の確保が困難となっている。 <p>【評価項目7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業評価を実施している。 <p>【評価項目8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師によるキャリア教育の機会が増えている。 ・学校関係者(関連する企業・団体、高校教員、卒業生、地域住民等)による学校関係者評価委員会を開催し、意見交換等を通じて自己評価結果について評価し、教育活動等の改善を行っており、PDCAサイクルが確立されてきている。 ・ホテル実習では、複数の現場担当者や人事から評価していただいている。 <p>【評価項目9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則、教務規定により進級・卒業判定の基準を明確にしている。 <p>【評価項目10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格対策授業をカリキュラムに盛り込んでいる。 <p>【評価項目11、12】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の数が十分とは言えない。特に若い人材が少なく、今後の学校運営を考えた人材の確保が必要である。 ・教員が高度な資格に常に対応できるよう継続的なスキルアップを図る必要がある。 <p>【評価項目13】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最先端のIT業界動向を把握するため、外部研修・セミナーへ参加している。 ・IT業界以外の専門分野の研修等の頻度が低い。
--

②今後の改善方策

- 【評価項目3、4、5】
 ・教育課程編成委員会や様々な企業との連携を通じて、最新技術や業界ニーズの把握に努め、より実践的なカリキュラムの開発と体系化を進める。
- 【評価項目6】
 ・学科に関連する企業との連携を深め、インターンシップ先の確保と内容の充実を図る。
- 【評価項目8】
 ・自己評価・学校関係者評価および教育課程編成委員会の結果と改善方策を、次年度の目標設定や取組に反映していく。
 ・インターンシップや実習は人事担当者から評価していただくよう働きかける。
- 【評価項目11、12】
 ・実務経験を踏まえ、業界の動向やニーズを的確に捉えて授業に反映出来る外部講師等を確保する。
- 【評価項目13】
 ・教職員の専門的な分野についての研修機会を増やす。
 ・余裕を持った年間計画や早めの情報収集により研修等の把握に努める。

③特記事項

--

(5)教育成果(学修成果)

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
3	退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

- 【評価項目1】
 ・就職希望者における平成26年度の内定率は98.6%、平成27年度は100%と向上している。
 ・就職指導により就職希望者の卒業前内定率100%を達成した。
- 【評価項目2】
 ・情報処理資格取得指導により卒業までの資格取得率が増加した。
 ・試験傾向の変わった日商簿記資格の取得率が低下しているため、新傾向への対応が急務である。
 ・資格取得に関しては、授業以外での個別フォローが必要である。
 ・ホテル系学科の重点的資格(レストランサービス技能検定[HRS])の取得率が低下した。
- 【評価項目3】
 ・平成26年度の退学者は7名(3.9%)、平成27年度は5名(3.1%)と減少したが、早期退学者が出た。
 ・個人面談・保護者への連絡等を定期的に行っている。
- 【評価項目4、5】
 ・企業との連携内で企業からの学生の評価を把握しているが、体系的な把握手段はない。
 ・卒業後のキャリア形成への効果まで確認はできていない。

②今後の改善方策

- 【評価項目2】
 ・試験傾向変更について、担当教員で分析を行い、早急に新傾向の対策授業を実施し、合格率向上を目指す。
 ・さらに細部にわたったきめ細やかな対策指導を行う。
- 【評価項目3】
 ・三者面談等で個々の対応を継続的に行う。
 ・入学直後の学習意欲をうまく継続させる。
- 【評価項目4、5】
 ・卒業生に定期的に連絡を取ることで、卒業生の状況調査を行い、教職員間で情報共有を行う。
 ・企業連携の枠組みの中で卒業生のキャリアを把握し、カリキュラムや指導体制の見直しに反映させる。

③特記事項

--

(6) 学生支援

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
7	保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
8	卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任や就職担当、キャリアコーディネータと連携し支援している。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の対応はクラス担任が中心に行っているおり、担任は相談しやすい雰囲気作りや、時間の確保が必要である。 ・主に担任が担当することとしているが、必要に応じて全教職員での対応が求められる。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の推薦特待生、資格特待生、在校生特待生等の学費支援制度の他、新たに「コア奨学金制度」を創設し、経済的理由により修学が困難な学生に対して、授業料の約4分の1に該当する20万円を減免することとした。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門医がおらず、設備も十分とはいえない。 ・保健室において適切な対応が可能である職員等が必要である。 <p>【評価項目5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の課外活動への支援体制がなく、課外活動が活発に行われてない。 <p>【評価項目6、7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三者面談を定期的に行う等、学生の生活について把握、助言を行っているが、より効果的な指導が必要である。 <p>【評価項目8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後も相談に来る学生へは就職支援を行っているが、継続的な支援体制までいっていない。 ・卒業生への支援は求人情報の紹介等にとどまっている。 <p>【評価項目9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の現場を意識して演習を実施している。設備面では十分な環境にはなっていない。 <p>【評価項目10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簿記の検定試験範囲の改定に伴い、高校の教員対象に解説講座を実施している。 ・一部学科については高校との連携が実施されていない。

②今後の改善方策

<p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有を行い、複数の教員で学生への対応ができる(相談内容によって担当者を割り当てる)体制をつくる。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の健康管理に関しては専門的な知識が必要だと考えられるので、定期的に専門医に相談できるような組織体制をつくる。 ・保健室で対応ができる教員の確保や教員のスキルアップを図る必要がある。(保健室の役割と充実) <p>【評価項目5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生会を設置して課外活動の支援にあたる。(平成28年4月より発足) <p>【評価項目6、7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学業・出席状況、健康状態、就職活動等について随時保護者と連絡をとり連携する。 <p>【評価項目8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生との連絡手段(メール、同窓会、企業訪問等)の構築を検討する。 <p>【評価項目9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業・業界団体等と連携体制を確保し、ニーズの把握、教育環境の整備に努める。 <p>【評価項目10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度中に計画を立て、高校生を対象とした模擬授業や出前授業のテーマの充実を図る。 ・高校生向けの講座、セミナーを検討する。
--

③特記事項

--

(7)教育環境

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な設備を確保し環境を整えているが、余裕のある整備にまでは至っていない。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップについては、就業体験を目的としたものが主となっている。 インターンシップ先を訪問するなど、企業との連携で学生への指導を行っているが、遠隔地の実習先とのより綿密な連絡体制の構築を図る必要がある。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災体制を整え、防災訓練を実施している。

②今後の改善方策

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 完全に修理が必要な箇所については早期に修理をして、費用が大きくなるようにする。 計画的に設備更新を行う。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップで実務の経理を体験させてもらえる企業を開拓する。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> AED講習などを定期的実施し、防災への意識を高める。 防災マニュアルを整備する。

③特記事項

--

(8)学生の募集と受け入れ

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校名変更が周知されていない所があった。 高校生の進路決定時期が早期化しているため、1・2年生のオープンキャンパス参加者数を増加する対策を検討する。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジネス系、情報系の出願数が減少。学科の特徴を伝えきれていなかった。 企業連携、インターンシップが就職につながっていることをアピールしたい。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学納金については、年度ごとに確認をしている。
--

②今後の改善方策

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田コア ビジネスカレッジ → 「秋コア」という呼称を意識的に使用し周知してもらう。 ・積極的に2年生のガイダンスに参加する。出張模擬授業を増やす。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス系、情報系のオープンキャンパス体験講座の見直しを図り、職業の魅力を伝える。

③特記事項

<p>・高校生の就職率は良いため、専門学校に進学するメリット(資格、経験、就職先など)をアピールすることが重要となる。</p>

(9)財務

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化に合わせた資金計画を立てており、財務基盤は小規模ながら安定している。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に合わせた予算・収支計画を立てており、その管理を月単位で行っている。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事による監査の他、公認会計士による会計監査を半期に1回行っている。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上において財務情報を公開している。

②今後の改善方策

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科やコースの編成において、プロジェクトチームを作りその検討を継続的に行うことで財務の安定を図る。

③特記事項

--

(10)法令等の遵守

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法および専修学校設置基準等の関連法令の順守を心掛け、事務部が窓口となり関係所管と逐次相談の上、運営を行っている。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法及び学園機密保護管理規定に基づき、学生の情報を適切に保全している。 <p>【評価項目3、4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ、委員会内で評価結果について討議する機会を増やしている。 ・自己評価を行い、教員間で問題点や改善方策の共有を図っている。 ・自己評価を実施しWebサイトで公開している。また、その結果に対して学校関係者評価委員会を2回実施し、改善案について協議を行っている。
--

②今後の改善方策

<p>【評価項目3、4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科内で時間を作って自己評価の情報を共有検討する。 ・自己評価について、外部からみて明解な表現を用い、改善案の提言を促す。
--

③特記事項

<p>【評価項目1、2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス遵守を継続的に行う。 ・ミスなく学校運営がされるよう、複数チェックを徹底する。
--

(11)社会貢献

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域住民との交流が少ない(本校に対する関心が低い、学校祭等で来場する方が少ない) ・現在、年に1回、地域の住民向けのパソコン講習会を無料で実施しているが、回数やバリエーションを増やして実施したい。 ・社会人や求職者向けの教育訓練として教育設備を提供している。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の紹介を行っているが、学生の積極的な参加に結び付ける必要がある。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共職業訓練を受託しているが社会情勢の変化により受託数が減少している。
--

②今後の改善方策

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域に対する清掃ボランティア等を実施する。 <p>【評価項目1、3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを中心とした講座にとどまらず、学科の特徴を活かした講座を実施する。 ・小中学生向けの講座を開講し、職業への興味・理解を促す。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後多くの団体と連携した活動を模索する。
--

③特記事項

--